高橋正子の県政報告
身近でわかりやすい県政をお届けします。ご家族のみなさまでご覧ください。

お茶の間 PRESS

あいち民主
2025.5 発行
編集／発行 高橋正子事務所
一宮市大宮 1-3-6 グランドメゾン大宮 1F
TEL(0586)71-2900

愛知県議会

2025年度当初予算2兆9,413億円

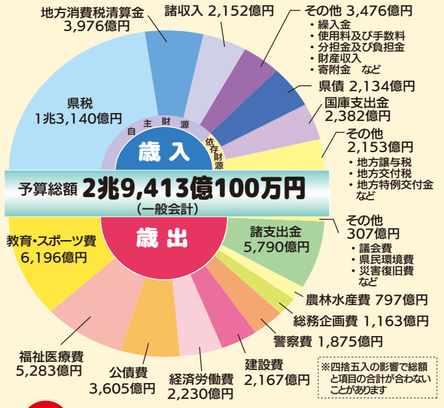
愛知を勢い盛んに成長・発展させる『Make Aichi Great』の予算編成！

県税収入は、企業収益の減少による法人二税の減収を見込む一方で、定額減税の終了や個人所得の増加による個人県民税の増収が見込まれる。しかし、人件費や扶助費などの義務的経費が増加することから、単年度の歳入だけで歳出を賄うことができず、多額の基金取崩しに依存する厳しい財政状況が継続。

新年度予算案は、一般会計の総額で2兆9,413億円となり、**2024年度の当初予算より1,464億円、率にして5.2パーセントの増。**

詳しくは愛知県のHPで→

本年は2005年の愛知万博の開催から20周年の節目の年でもあり、ジブリパークの開園により賑わいが増す愛・地球博記念公園において、**「愛・地球博20祭」を開催。**そして、**本年7月には、いよいよ、アジア最大級・世界最先端のスマートアリーナ「IGアリーナ」がグランドオープン。**さらに、**本年9月には、国内最大規模の国際芸術祭「あいち2025」が開幕。**世界中からたくさんの人と最先端の技術・サービスを呼び込み、愛知を更なる成長に導く、ダイバーシティ（多様性）に富んだ「世界と大交流する愛知」を創り上げていく。一方で、喫緊の課題である人口減少・少子化対策を始め、社会インフラ整備や農林水産業の振興、教育や医療・福祉、女性の活躍、防災など、県民の生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力投球。グローバル化の進展やAI等のデジタル技術の急速な発展など、世界が大きく変化する中、日本の未来をつくるビッグプロジェクトをさらに大きく前進させ、愛知を勢い盛んに成長・発展させていく思いを込めて、2025年度当初予算は、『Make Aichi Great』予算として編成。



歳入

県税収入は、前年度から233億円増の1兆3,140億円。法人二税については、県内企業の業績予想などを踏まえて減収を見込む一方で、個人県民税は、定額減税の終了による増収185億円のほか、個人所得の増加による増収が見込まれることから、定額減税の影響を除く県税全体としては、前年度と同水準を見込む。

歳出

人件費は、民間企業の賃上げの影響などにより増加。医療・介護・子育てなどの扶助費は、2025年にかけて団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることに加え、子ども・子育て支援の強化などに伴い、引き続き増加。

愛知万博20周年記念事業
愛・地球博20祭

2025年3月25日～9月25日 @愛・地球博記念公園

2025年に愛知万博の開催から20年を迎えるにあたり、万博を知らない子どもや若者たちを中心にその理念や成果を継承するとともに、愛知の魅力を発信する記念事業を愛・地球博記念公園で開催。メインテーマは「つなぐ未来（あした）へ」、サブテーマは「①愛知で、さがそう！遊ぼう！つながろう！②語りあおう！つなげよう！自然の叡智」

「月ごとにテーマを決めて週末を中心に行うイベント」10:00～17:00
4・5月／遊びと学びの体験フィールド
5月／集まれ！あいちの魅力博。
6月／全員集合！地球まもり隊
7月／地球大交流フェスタ
8月／地球を愛する学園祭・ナイトファンタジー・エンジョイサマー
9月／サステナブル芸術祭

入場無料

詳細はQRコードでご覧ください

シンボル展示「地球の樹」

世界トップレベルのグローバルアリーナ

NEW!

「IGアリーナ」が7月13日「大相撲名古屋場所」でグランドオープン！

©AIA corporation ※画像はイメージです。

2025年7月にグランドオープンを迎える「IGアリーナ」は、愛知・名古屋のシンボルとなる“世界トップレベルのグローバルアリーナ”として、民間のノウハウを最大限に活用。名城公園北園の一部に建築面積約26,500㎡、高さ41ｍで地上５階のアリーナは最大収容人数17,000人。3月29日にはIGアリーナ完成引渡し式も行われ、5月31日と6月1日に、「IGアリーナオープニングDAYs」を開催。

そして、7月13日に「大相撲名古屋場所」でグランドオープン！その後はBリーグ「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ」のホームゲームをはじめ、12月の「フィギュアスケートグランプリファイナル」などスポーツイベントや国内外のアーティストによるコンサート、さらには東京ガールズコレクションなどさまざまなイベントを開催予定。2026年開催の「アジア・アジアパラ競技大会」の会場にもなる。

写真：合名会社 中定商店

愛知の伝統 ＼第２弾／
発酵食文化

うまみ UMAMI AICHI
うまみ県あいちの発酵食ポータルサイト
あいち発酵食めぐり
https://hakko-aichi.jp/

愛知は古くから味噌や醤油、みりん、酢、漬物などの伝統的な発酵食品の集積地。2024年5月には「愛知『発酵食文化』振興協議会」（会長・大村秀章愛知県知事）を設立し、発酵食文化の魅力を国内外へ発信中！

一宮

漬物屋が教える「ぬか床つくり」「酒粕漬つくり」教室

尾張一宮香物 **三井宮蔵**（三井食品工業株式会社内）

創業100年の地元一宮の老舗漬物メーカー、三井食品工業の直売店「尾張一宮香物三井宮蔵」で、「ぬか床つくり」と「酒粕漬つくり」教室を開催中。三井宮蔵は、あいち発酵食めぐりの一宮市内発酵食スポットとしても協議会サイト「あいち発酵食めぐり」で紹介され、漬物を学び親しく感じてもらおうと漬物づくりの体験教室を予約で開催している。同社の漬物製造管理士が漬物のうんちくと共に、漬物の魅力を楽しく教授する。

講師を務める、漬物製造管理士の野々垣信次さん

一宮市三ツ井1-10-8
TEL(0120)81-3896
営業時間／10:00～18:00
定休日／水曜日・日曜日

乳酸菌を育てる
ぬか床で手作りぬか漬に挑戦！

※ご自宅では手袋無しで行います

▲ぬか床つくり教室は、自宅で好みの野菜を漬け込み、乳酸菌を増やし自分好みのぬか漬ライフを楽しむための教室。ぬか床のお世話から困った時のメンテナンスもOK。
◀酒粕漬つくり教室では、塩もみしたきゅうりを酒粕に漬け込み、自宅で数日待つだけの初心者向けの教室。

参加は「ぬか床つくり」と「酒粕漬つくり」のどちらかを選択。参加費は各￥500。所要時間は各90分。5名以上で2週間ほど前までに要予約。エプロンと筆記用具を持参。

名高速→一宮木曽川ICへ「名岐道路」が2025年度にいよいよ事業化へ！

国土交通省は、2025年度から着手する新規事業化路線に、名古屋と岐阜を結ぶ「名岐道路」を決定！名岐道路は、名古屋高速16号一宮線をさらに北へ延伸し、同高速一宮東出口～東海北陸自動車道一宮木曽川ICの約7kmを国道22号に沿って高架化し、東海北陸自動車道の一宮木曽川ICへ直結させる。名岐道路が完成すれば名神を通らず名古屋高速と東海北陸自動車道が直結するため名神高速道路一宮JCT付近の渋滞も緩和される見込み。

BISHU

ここで買える！「尾州グッズ」

公益財団法人 尾州ファッションデザインセンター

贈り物に最高!?「尾州ネクタイ」

尾州は高級毛織物産地として有名で、その高い生産技術で様々な素材の生地を織り上げている。ここFDCでは尾州産の証である「尾州マーク」がつけられた尾州グッズを販売するコーナーを昨年12月に増設。

ションヘル織機を使いジャガード織で織り上げたやさしい風合いの「尾州ポーチ」に、最高品質を誇る「尾州ネクタイ」。通気性が良く、防臭効果や防菌効果のあるウール100％でサラサラの肌触りの「尾州枕カバー」などがならぶ。

また、SDGsを意識して、一宮市立中学制服生地で作ったポーチやペンケース、ネックストラップ等の販売もある。

加齢臭とサヨナラ！パパの枕臭にお困りのママさん必見！

FDCが平成30年から販売しているウール100％の生地を使った「尾州枕カバー」は、ウールの特徴である消臭効果と吸湿性もばっちり！加齢臭の枕とサヨナラできる…。

●尾州グッズの一例
（税込価格）
尾州ポーチ（￥2,500）
尾州ネクタイ（￥5,500～）
尾州枕カバー（￥3,300）

一宮市大和町馬引
宇南正亀4-1
TEL(0586)46-1361
開館時間／9:00～17:00
休館日／年末年始